



# THE ROTARY CLUB OF MIYOSHI CHUO

## 三次中央会報 ロータリークラブ

事務所 / 広島県三次市十日市東 1-16-19  
TEL (0824) 64-1245  
FAX (0824) 64-1245  
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp  
http://mcrc.server-shared.com  
例会場 / 広島県三次市十日市南 1-10-1  
三次グランドホテル  
例会日 / 月曜日 12:30~13:30

### 2022-2023 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

■本日のプログラム ゲスト講演  
三次税務署 古本 稔様、恵谷公一様  
「インボイスについて」

■次回例会日時 2023年2月13日(月) 12:30~

■次回プログラム DVD鑑賞 / ロータリー情報委員会

#### ■第1371回例会記録

●日時.....2023年1月30日(月) 19:00~

●点鐘.....会長

●国歌「君が代」斉唱.....全員

●ソング「奉仕の理想」.....全員

#### ●ゲスト紹介

三次市教育委員会 友廣美和様

会長 / 沈 勝 義  
幹事 / 中 島 清 貴

●2022~23年度 国際ロータリーのテーマ



●2022~2023年度 三次中央RCスローガン

ロータリアンであることを強くイメージし、奉仕の喜びを分かち合おう

■開会挨拶.....沈 会長

## 三次の鵜飼を次世代へ

皆さんこんばんは。今日は久しぶりの夜間例会ですね。昨年は夏の家族会も、冬のクリスマス会も中止となり、皆さんと親睦を深める機会がほとんどなかったのが、このような夜間例会が迎えられるだけで本当にうれしく思います。とは言え、コロナも取まってはいないので、スクール形式ではありますが、ご理解ください。

本日は、三次市役所の教育委員会から、講師をお迎えしてのゲスト講演となっております。講師の友廣美和さんには後ほどよろしくお願ひいたします。また、本日のプログラムを担当していただいた小根森広報委員長、大変お世話になりました。

さて、本日のゲスト講演のテーマが「次世代に伝えよう貴重な文化財」となっております。お話しいただく内容は承知していませんが、まさに私たちも、次年度に向けて、三次の観光資源を次世代に伝えていく 取り組みをしようと考えていましたので、時期を得たテーマだと思ひました。

以前にも少し、皆さんにお話ししたかもしれませんが、三次市にある豊かな観光資源の中で、とりわけ特徴的なのが三次の観光鵜飼だと思ひま

す。広島県の無形民俗文化財にも指定されている、この「三次の鵜飼」を、果たしてどのくらいの三次市民が体験しているのでしょうか…。就職などで三次を離れる青少年や、大学・短大・専門学校へ進学する高校生達、いわゆる次世代の若者のほとんどが、鵜飼の体験や、乗船をしたことがないのではないのでしょうか。



そうした青少年たちの多くが、三次を離れてよその市町や、更には県外に旅立って行くわけですが、ふるさとである三次の魅力をうまく伝えることができるのでしょうか。

そこで、小さな一歩かもしれませんが、三次に住む高校生を対象にした、観光鵜飼を経験してもらう「鵜舟の体験乗船」を計画しています。もちろん全ての高校生と言うわけにはいかないのが、限定された範囲での取り組み となりますが、それを

経験した少年少女たちが、将来それぞれの場所で、三次の観光大使として、活躍してくれることが期待できると信じております。

ただしこの事業は、ロータリー財団の地区補助金を活用して取組もうと考えております。これからその申請を行うわけですが、財団の補助金を利用できなければ、実施は難しいと考えておりますので、条件付きではありますが、実施の際には、皆さんのご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に一つ ご協力いただきたいお願いがあります。年頭の初例会に、庄原ロータリークラブの角田会長と市川30周年実行委員長がお見えになられ、記念行事への参加協力を呼びかけられました。お陰様で、多くの会員の皆さんに、出席の意向をいただいておりますが、「更にもう少しご協力いただきたい」とのお願いがありましたので、3月21日火曜日の春分の日ですが、調整が可能な方は、是非参加して下さいますよう、重ねてお願い申し上げます。会長挨拶といたします。よろしくお願いいたします。

■**幹事報告**.....**中島幹事**

- 奥田元宋・小由女美術館より次回展覧会の案内が届いています
- 吉舎クラブよりIMの案内を回覧しています。  
3月26日、日曜日です。全員登録です。次週より5,000円集金します。
- 3月21日の庄原ロータリークラブ30周年記念式典の参加費を集めています。
- 第8回理事役員会を次週2月6日、グランドホテルにて午後7時より開催します。欠席の方は、早めに幹事に連絡してください。

■**出席報告**.....**平田委員長**

●第1369回 1月16日

会員数	35名	Make-up	0名
欠席	4名	出席合計	31名
欠席者のうち規定免除	1名	出席率	91.18%

●Meke-up...

●第1371回 本日の出席は35名中28名です。

■**SAA**.....**石田SAA**

●会員ニコニコBOXご出宝

- 水野君 妻に花をありがとうございました。(大口)
- 沈君 久しぶりの夜間例会です。皆さん、楽しみましょう。友廣様、よろしくお願いいたします。(大口)
- 小根森君 今日は広報委員会担当例会です。よろしくお願いいたします。(大口)
- 沖君 久しぶりの夜間例会。ゲスト、友廣様をお迎えして。
- 上田君 ゲストをお迎えして。広陵高校、選抜出場決定！応援をよろしくお願いいたします。

「ゲストに友廣様をお迎えして」

和田君、井上君、平田君、角谷君、山縣君、石田君

ニコニコBOX本日出宝額 19,000円

**ロータリー川柳**

**平田博紀**

- 出席で 一週間の リズム生む
- 下手のまま ゴルフ会員券 パーになる
- この寒さ 過疎に拍車を かけないで

皆さんこんばんは。広報委員会担当の小根森です。本日は三次市教育委員会文化と学びの課より友廣美和様をお迎えし“次世代に伝えよう貴重な文化財”と題してお話をさせていただきます。

今、全国的に話題となっております寺町廃寺など地元の私たちがまだあまり知らない文化財が三次にはいくつもあります。今日は友廣様のご講座をお聞きして皆で少し勉強させていただきます。それでは友廣様、よろしく願いいたします。

小根森直子広報委員長

## 次世代に伝えよう 貴重な文化財

### 三次市教育委員会 文化と学びの課 友廣 美和



みなさんこんばんは。みよしなるほど出前講座にお申込みいただき、ありがとうございます。

三次市教育委員会文化と学びの課の友廣と申します。本日はよろしく願いいたします。

文化財とは我が国の長い歴史のなかで生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な財産のことです。文化財一つ一つが守り伝えられ、その中に指定文化財といって重点的に保護される文化財があります。それらが地域や、歴史を物語ることで、三次の歴史、日本の歴史、世界の歴史を知る道になります。

また、温故知新、古きを知り、新しきを知るといふ言葉があるとおり、この三次の地で暮らしていた人々が何を大切にし、どのような工夫をしてきたかを知ること、これからの三次を考えるヒントにもなります。

そんな歴史を証するもの、文化財は、三次には200を超える数があります。

- 三次市にある指定文化財 242件
- 国指定文化財 12件
- 県指定文化財 61件
- 市指定文化財 169件
- 登録文化財 11件

特に今日覚えていただきたいのは、史跡が5件あるということです。5件あるというのは市としては、とても多いです。

自治体の数と史跡と特別史跡を足した数を比べていただくとよくわかると思います。

- 全国の市町村数・・・1,724市町村(北方領土含む)
- 史跡・特別史跡の数・・・1,935件
- 三次市の史跡の数・・・5件

三次市は中国地方のほぼ中央に位置し、山陰と山陽を結ぶ交通の要衝(ようしょう)という環境の中で、古くから栄えてきました。この地に住む人々は、三次盆地に流れ込むいくつもの川と、中国山地から産出する山砂鉄(やまさてつ)による「たたら製鉄」などの資源を活用しながら、生活してきました。

三次市で人々の足跡が見られるのは、2万年前、旧石器時代にさかのぼります。

下本谷(しもほんたに)遺跡(西酒屋町)で発掘された石器は、日本列島最古級と考えられており、日本列島で人が暮らすようになったルーツを解明する手がかりのひとつです。

縄文時代には小高い丘の上に竪穴式(たてあなしき)住居を建て、網による川漁や落とし穴などで食糧を獲って生活していました。

三次市では、三良坂町で漁をしていた痕跡が、工業団地のところでは、落とし穴が見つかっています。

弥生時代の後半になると日本列島に地域的なまとまり(クニ)や階層が生まれてきました。

こうした中で特定の人物(グループ)を埋葬する墳丘墓が造られるようになり、三次地域では四隅突出型墳丘墓が造られました。四隅突出型墳丘墓

の出現の地とも考えられています。

古墳時代には、平地を望む丘陵上に多くの古墳が造られました。三次市には広島県内の古墳の数の3分の1にあたる4000基以上が確認されており、全国的にも古墳が密集する稀(まれ)な地域です。

地方に仏教が普及し始めた7世紀後半には、寺院が建立されました。飛鳥時代には「備後(びんご)国」が成立していたことがわかっており、現在の三次市の範囲は三次郡、三谿(みたに)郡、甲奴(こうぬ)郡にあたります。

広島県史跡下本谷遺跡は、インターチェンジ出入口から市街地へいく峠のところにあります。ここが、この時代の役場の跡で、三次郡の中心地であったと考えられています。

各郡には、お寺が造られました。三谿郡のお寺が、向江田町にありました。寺町廃寺跡(国史跡/向江田町)は日本最古の仏教説話集(ぶつきょうせつわしゅう)「日本霊異記(にほんりょういぎ)」に記されている三谷寺(みたにでら)と推定されており、誰がどのような目的で寺院を建てたか、経緯がわかる重要な遺跡です。

また、近年の調査では日本最古級の木製灯籠(とうろう)跡が発掘されています。

令和3年度にはこれまでの調査をまとめた「総括報告書」を刊行しました。

#### 寺町廃寺跡の特徴

- 遺構の様子から、畿内や百済地域との関係がわかった
- 遺物から、畿内や備中地域との関係があることがわかった
- 日本霊異記との関係から、誰がどのような目的で寺院を建てたか、経緯がわかる
- 仏教文化が地方に広まった時代の歴史を解明する重要な手がかりになる遺跡!

鎌倉時代には源氏の御家人(ごけにん)が地頭(じとう)として任命され、在地領主になりました。

その中で、和智(わち)氏は南天山(吉舎町)、江田(えた)氏は旗返山(はたがえしやま)(三若町)を居城とし、三吉(みよし)氏は比叡尾山(ひえびやま)(島敷町)に最初の居城を設け、備後北部で力を持ちました。

三次市内には多くの山城(中世城館)が築かれており、勢力が拮抗する境界であったことがうかがえます。

島敷町の熊野神社には、三吉氏に関する文化財がいくつもあります。

- 熊野神社宝蔵
- 鉄製釣燈籠
- 金銅製板塔婆

吉舎町には、和智氏に関する文化財がいくつもあります。

- 金箔押素懸茶糸威二枚銅具足・鳥帽子形兜・置袖
- 和智豊広・和智豊郷法名刻印宝篋印塔
- 南天山城跡

関ヶ原の戦いで勝利した徳川家康は、安芸・備後国を福島正則(ふくしままさのり)の領国とし、その後、浅野氏が統治することになりました。

初代広島藩主が死去した後、分家独立したのが「三次藩」です。

1632～1720 三次藩は、三次郡と比婆郡の一部を5代88年にわたって治めましたが、跡継ぎがなく断絶してしまい、本藩の広島藩に属しました。

三次藩が断絶した後、寛延2(1794)年の三次を舞台にし、妖怪物語「稲生物怪録」が誕生しました。

江戸時代の政治の中心地であったことが、頼杏坪役宅や飢饉に備えて物資を保管した三次社倉などからわかります。

また、江戸時代の一般の人々の暮らしを知る手がかりとして、江戸時代の前・中・後期それぞれの特徴ある民家を見ることができます。

- 前期 旧真野家住宅
- 中期 幡山家住宅
- 後期 奥家住宅

三次市には多くの文化財があります。永く守り伝えていけるよう、ご協力よろしくお願いたします。



■謝辞.....沈 会長  
■点鐘.....沈 会長